



2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社マーキュリアホールディングス
代表者名 代 表 取 締 役 豊島 俊弘
(コード番号：7347 東証プライム)
問合せ先 執 行 役 員 経 営 管 理 統 括 滝川 祐介
(TEL. 03-3500-9870)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年2月10日に開示した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,000	百万円 1,900	百万円 1,900	百万円 1,300	63円19銭
今回修正予想（B）	4,400	1,900	2,100	1,450	70円68銭
増減額（B－A）	400	-	200	150	
増減率（％）	10.0	-	10.5	11.5	
（参考）前期連結実績 （2021年12月期）	4,170	1,763	1,817	1,304	77円12銭

2. 修正の理由

当社は設立以来「クロスボーダー」を経営理念の一つに掲げており、香港証券取引所に上場する Spring REIT の管理・運営を行う香港子会社を中心に、中国及びタイにも子会社を有しており、海外においてもファンド運用事業、コンサルティング事業等を展開しております。

昨今の為替相場の円安の影響により、これらの海外子会社に係る損益の円換算額が増加することが見込まれ、営業収益の予想が前回発表予想との対比において10.0%増となり、その差異が開示基準に達する見通しとなりましたので、営業収益の業績予想の修正を行うことといたします。

また、前回発表予想では、営業外損益項目の為替差損益は生じないものとして業績予想を行っておりましたが、第3四半期累計期間までに多額の為替差益が計上され、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回ることが想定されるため、併せて業績予想を修正することといたします。

なお、今後の為替相場の動向は不透明であるため、第4四半期の為替レートは第3四半期末の為替レートと同水準を前提とし、第4四半期に為替差益は発生しない見通しとしております。

なお、今後も今回公表の業績予想との対比において業績予想の修正を行う必要が生じた場合には、速やかに修正業績予想の開示を行うことといたします。

※ 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上